

世代連携・理文融合による 女性研究者支援

女性の自立を建学の精神に掲げる津田塾大学は、数学や情報科学教育にも早くから取り組み、卒業生には大学教員や研究者も多数います。「世代連携・理文融合による女性研究者支援」計画では、女性研究者支援センターを設置し、出産育児を抱える女性研究者を、さらに積極的に支援しつつ、世代連携と理文融合を両輪として、次世代研究者を育成していきます。

…… 7つの目標 ……

1. 出産、育児、介護を原因とする女性研究者の「研究活動の中止」を全廃
2. 情報科学科の大学院進学率向上
3. 文系学科から理系大学院進学を目指す学生を育成
4. 大学院修了生、学部卒業生が情報通信分野の専門職に進む割合を増加させる
5. 学部生、大学院生による学会発表件数を年10件以上に
6. 理系学科の女性教員比率を33.3%に近づける
7. シンポジウムやワークショップなどのイベントを通じて、情報科学分野における女性研究者の活躍の可能性を学内外に広報する



実施体制・内容

